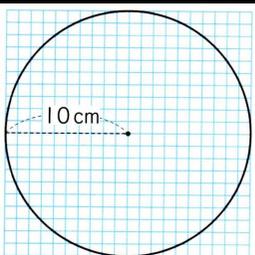


# 課題

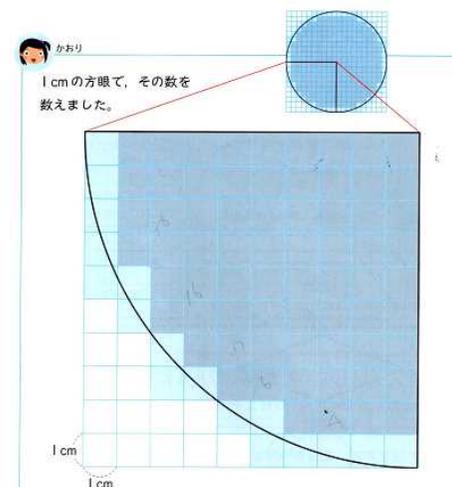
教科書で紹介されている、いくつかの円の面積の求め方を理解しよう！（自分たちが考えたものもあるかもしれませんね。）



## 方法①

円の面積は、 の  倍より大きく、 倍より小さい。

## 方法② (かおりさん)



の数は  個 .....  cm<sup>2</sup>  
 の数は  個  
 この面積は半分と考えると...  cm<sup>2</sup>  
 円の面積は、 × 4 =       答え 約  cm<sup>2</sup>

☆方法②の求め方では、半径10 cmの円の面積は、1辺10 cmの正方形の面積のおよそ何倍か？

## 方法③ (ひろきさん)

• 一つの三角形  
 底辺 ...  cm  
 高さ ...  cm  
 面積 ...  ×  ÷ 2 =   
 • 円の面積  
 × 16 =       答え 約  cm<sup>2</sup>

☆方法③の求め方では、半径10 cmの円の面積は、1辺10 cmの正方形の面積のおよそ何倍か？  
 ☆正多角形の頂点の数をどんどん増やして調べると、どうなるか？  
 ☆方法②と③の結果を見て、何か気づいたか？